

# ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 122 11月号

2015年11月1日 発行  
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.113

### 『読書』にまつわる思い出話

御津町 北川 加代子

ふとした折に子どもの頃を思い出すと、いつも父が縁側に近い南の間で、熱心に新聞を読んでいた姿が浮かんでくる。「ああやって世の中の動きを知り勉強するんだー」と。きっと大切な情報源だったからだろう、本や新聞を雑に扱うとすごく叱られた。

やがて中学生になり、図書館に通うようになって、先輩がある時から寝食を忘れて本ののめり込むようになったという話を聞き、さて自分にもそんな日がくるのだろうか、全く実感がわかなかった。ところが高校入学後間もなく、私にもその時はきた。高校の正門前に古本屋さんがあり、1冊5円とか10円で借りられた。その頃は、まだまだ清純な乙女だったから「足るを知る」をそのままに、毎月納める授業料のおつりを貯めては、週末の午後を心待ちにして何冊も借りたものだ。カバンに入れて帰路につく時、その重さが嬉しかった。

こうして本を読むことは3年間、飽きることなく続いたので、かなりの冊数を読破したはずだ。なのに、半世紀もすぎた今、鮮明に蘇るのは、極悪非道の罪人「<sup>かんだた</sup>犍陀多」が、



過去の善行で「蜘蛛の糸」に助けられようとする、かの有名な短編だ。多分最初の1冊だったのだろう。いや、人生の戒めを諭されたようで感じ入った作品だった、という事にしておこう。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『木と生きる、木を生かす 木地師千年の知恵と技』 川北 良造 著 祥伝社



日本の豊かな樹木を使った木工芸には板状の素材を組み合わせた指物、木の塊をノミなどでくり抜いた彫物、木の塊をろくろで回転させ刃物を当て形成する挽物がある。著者は石川県山中町の地場産業で木目の

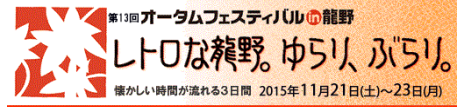
美しさが特徴の山中漆器挽物に半世紀も携わってきた。

一般的な職人は分業をするが、著者は、木の買い付けから漆塗りまで全工程を手がける。人に任せるとその人の判断や感想が入り、自分の思いとは別のものになるからだ。買い付けた木は養生し、3、4年して落ち着いた頃を見計らって製材する。そして用途に応じた寸法に切りろくろで仕上げ乾燥させる。次はまたろくろ

を回しながら鉋<sup>かん</sup>を当て細かい模様を彫って加飾をする。3ミリ幅に24本の線をつけるなど細かく神経を使う作業である。前日から体調を整え邪念を振り払い一気に行く。そのために、鉋<sup>かん</sup>は手作りし、人には絶対貸さない。使う人の体や感覚に合っていればこそ使いこなせるものだからだ。そして、何回も鉋<sup>かん</sup>を当て微調整し、最後に木目を生かすため色をつけず漆を塗る。塗っては拭き取り、起き上がった繊維を固めて研ぐことを3、4回繰り返す。この捨て漆という作業は漆が無駄のようだが、表面を平らにする不可欠の方法だ。木の持つ癖や顔、性質をうまく引き出し、命を吹き込み甦らせる仕事を天職だと人間国宝の著者はいう。

世界に誇れる日本文化を素朴な語り口で紹介し、知らず知らずのうちに木の魅力に引き込まれていく。  
(龍野図書館 石井)

**トピックス** オータムフェスティバル in 龍野



しとろな龍野地区の街並みで、さまざまなイベントが開催されます。龍野図書館も会場として下記のイベントを開催します。是非お立ち寄りください。

- ◎**貴重本の一般公開** 世界に限定33部の貴重本「*Michelangelo: La Dotta Mano*」を一般公開します。  
【日時】11月21日(土)・22日(日) ※いずれも午前11時～午後3時 【場所】龍野図書館2階展示室(申込不要)
- ◎**パネルシアターと絵本の読み聞かせ** 【日時】11月22日(日) 午前11時～12時 【場所】龍野図書館1階 絵本コーナー(申込不要)
- ◎**雪だるま作り、フックカバー作り、健康チェック、考えるお絵かき等**  
【日時】11月22日(日) 午前11時～午後4時 【場所】龍野図書館2階研修室(申込不要)

**親子わらべうた講座** 親子で絵本やわらべうたを楽しみましょう。

【日時】第1回 終了 第2回 11月1日(日) 第3回 11月7日(土) ※いずれも午前11時～11時40分  
【講師】小早川美鈴氏 【場所】龍野図書館2階研修室 【対象】0歳～3歳児と保護者  
【定員】親子15組(要申込・先着順) 【申込先】龍野図書館

**朗読会 ～心に響く詩と物語～**

「心に響く」をテーマに朗読会を行います。耳から聞くことで、より味わいが広がる朗読会にぜひご参加ください。

【日時】11月29日(日) 午後1時30分～2時30分  
【出演】朗読ボランティア 潮騒 【内容】向田邦子著「字のない葉書」ほか 【場所】御津図書館 研修室  
【定員】40名(要申込・先着順) 【申込先】御津図書館

## おすすめする子どもの本・113

### 『ロバのロバちゃん』

ロジャー＝デュボアザン 文・絵 くりやがわ けいこ 訳 偕成社

ロバのロバちゃん、農場で友達の動物達と毎日楽しく暮らしていましたが、ある日、馬のパット君の短い耳と自分の耳を見比べて「ぼくはみみがながくて ばかみたい」と思い、とても悲しくなりました。

犬のヘクター君に相談すると、耳は垂らしておくものだと言われたので、ロバちゃんはぴーんと立った耳を垂らしてみました。ところが他の友達もロバちゃんを見ると笑いだし、耳は横につけるものだと言いました。ロバちゃんは、今度は耳を横になおしてみました。けれども、いつものように小屋に入ろうとすると、横にした耳が入口の

くぎに引っかかって怪我をしてしまいました。

色々試してみてもうまくいかず元気を無くしていると、すずめのダニエル君がやってきて、「きみは ロバだ。ロバらしく、みみをぴーんと たてとけよ」と言って飛んでいきました。ロバちゃんがぼかんとしていると、通りかかった女の子が、ロバちゃんのぴーんと立った耳を見て「かわいい ロバちゃんね。おみみがとっても すてき！」と言いました。ロバちゃんは嬉しくなって、その日から、また、耳をぴんと立てて過ごすようになりました。

明るい色彩と、いきいきとした線で、ロバちゃんの失敗も楽しく描かれ、ありのままの自分が一番素敵だと思える結末に満足感が得られます。読んであげるなら5歳くらいから。  
(御津図書館 杉岡)

### 『ミリー・モリー・マンデーのおはなし』

ジョイス・L・ブリスリー 作 上條由美子 訳 福音館書店

ミリー・モリー・マンデーは、短い髪に、短い足、短い服を着た小さな女の子でしたが、名前はちっとも短くありません。本当の名前は「ミリセント・マーガレット・アマンダ」といいました。

ミリー・モリー・マンデーは、お父さんとお母さん、おじいちゃんとおばあちゃん、それにおじさん、おばさんと一緒に住んでいました。ミリー・モリー・マンデーの仕事は、おつかいをしたり、ことづけを届けたりすることでした。ある日、ミリー・モリー・マンデーは、みんなから頼まれた用事を忘れないように「とうさんのこてと、かあさんのたまごと、おじいちゃんの糸と、おばあちゃんの毛糸と、おじさんのにわたりのえさと、おばさんの針と」と繰り返し口ずさみながら出かけて行きます。順々に

頼まれごとを済ませていきますが、最後のひとつは「おばさんのもの」ということだけは覚えているのに、何だったかを思い出せなくなります。（「ミリー・

モリー・マンデーおつかいにいく」）

他にも友だちとテントを張って、その中で一晩中過ごしたり、留守番を頼まれた時には、料理を作ったりもします。どれも、日常生活で起こりそうなわくわくする出来事で、読み手が一緒になって楽しめるおはなしです。

続編には『ミリー・モリー・マンデーともだち』があります。

読んであげるなら5歳くらいから。

(龍野図書館 三葉)



# 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	11月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	1～3歳児、保護者 第2土曜日(11時～11時20分)	14日 『おふろだ、おふろだ!』他
	子どもの本を読む会	一般 ※会場が変更になっています 第2木曜日(10時～11時30分)	12日 イギリスの詩を楽しむ
	読書会	一般 第2金曜日(10時～11時30分)	13日 『父の詫び状』 向田 邦子 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 第2月曜日、第3・第4日曜日 (11時～11時20分)	9日・15日・22日 『もりのてぶくろ』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ 毎週土曜日(10時15分～10時45分)	7日・14日・21日・28日 「犬と猫とうろこ玉」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	14日・21日 『くまのコールテンくん』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	14日・21日 『サリーのこけももつみ』他
	読書会	一般 第3金曜日(10時～12時)	20日 『三匹のおっさん』 有川 浩 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	1歳～4歳児、保護者 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	8日・15日 『どろんどろんこ!』他
		5歳児～ 第2・第3日曜日(11時30分～11時50分)	8日・15日 『サリーのこけももつみ』他
	読書会	一般 第2火曜日(13時30分～15時30分)	10日 『天災から日本史を読みなおす』 磯田 道史 著
	古文書を読む会	一般 第2土曜日(13時30分～15時30分)	14日 古文書の解説